

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和4年4月25日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■関係機関との連携 第1回営農連絡会議を開催

営農連絡会議は、揖斐川町、大野町、池田町、JAいび川、NOSA I岐阜、揖斐農林事務所で構成し、2ヶ月に1回農業普及課が主催し、揖斐地域の農業振興について情報を共有している。

第1回は、令和4年度の事業計画および施策について各機関から説明し、目標にむけた連携方法について検討を行った。各事業担当者も互いに把握できたことから、現地活動に連携して取り組み、次回の営農連絡会議からはそれぞれの進捗状況等を確認し、効果的な事業展開を図っていく。



【会議の様子】

#### ■新規就農研修生 就農むけた面談を実施

揖斐管内での農業研修生3名に対し、揖斐地域就農支援協議会の就農サポートチームによる就農相談を行った。4月13日に揖斐川町役場で1名、4月21日にJAいび川担い手サポートセンターで2名に対し、就農意志の確認を行い、生計が成り立つ就農方法について検討を行った。いずれの研修生も初回面談であり、今後個別に就農スケジュールを確定させ、就農計画の作成を支援していく。



【面談の様子】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■種子の安定生産支援 小麦（イワイノダイチ）種子ほ場審査を実施

4月13日に生産者、JA等関係者と協力し、小麦（イワイノダイチ）種子の出穂期ほ場審査を行い、概ね順調に生育していることを確認した。さらに5月下旬に成熟期ほ場審査を行い、6月上旬の収穫後、来年作の種子として県内に配布される。

揖斐管内では小麦（イワイノダイチ）種子を約42ha、水稻（ハツシモ岐阜SL）種子を約8ha、大豆（フクユタカ）種子を約25haで生産しており、今後も安定生産に向けた栽培管理を支援していく。



【ほ場審査の様子】

### ■茶 一番茶の生育状況と摘採に向けた検見

本年は、春先の温暖な気温により生育が順調に進み、主要品種の‘やぶきた’は平年より1日遅い4月3日に「ほう芽（出芽）期」を迎えた。4月6日頃から気温はさらに高まり、生育状況に前進傾向がみられた。それに伴い、昼夜の温度差が広がってきており、良質な茶葉の収穫が期待できる。

管内の生産組織では、一番茶に向けた準備が着々と進められており、（農）桂茶生産組合では4月17日に管内茶園生育状況を巡回する検見が行われた。

美濃茶流通センターでは4月30日頃から一番茶共販会が始まり、5月の中旬頃まで行われる見通しである。



【検見の様子】

### ■柿 大野町かき振興課婦人部総会及び機械の安全研修会の開催

4月14日に、大野町かき振興会婦人部の総会が開催され、令和3度の活動実績及び令和4度の活動計画について承認された。農業普及課からは、柿の当面の栽培管理や病害虫の防除、GAPの取り組みに関する研修を行い、今後の栽培管理の徹底とGAPの理解が進んだ。

また総会后、草刈り機使用時の安全講習会が実施された。メーカーが講師となり、軽トラック荷台への機械の積み下ろしや、エンジンをかけるコツ等、実演を交えながら説明された。生産者は熱心に聞き、積極的に質問を行い参考になったとの意見も多かった。



【安全講習会の様子】

### ■いちご 親株管理研修会の開催

揖斐地区はいちご生産が盛んである。4月13日から各地区で今年度の生産に向けての親株の管理について、研修会が開催された。収穫作業で忙しい時期だが、農業普及課から今後の栽培管理において発生しやすい病害虫や作業のポイントについて情報提供し、育苗に遅れがないよう助言を行った。

いちご栽培では、安定した健全な苗を作ることが安定生産につながる。今後も安定していちごが生産されるよう、栽培管理の支援を継続して行う。



【研修会の様子】

### ■なす 定植研修会の開催

4月22日に夏秋なすの苗配布に合わせて、いび川夏秋なす生産組合の定植研修会が開催され生産者7名が出席した。JAと協力し、今後の栽培管理や定植時の作業ポイントについて、情報提供を行い、出席者は定植に向けて作業等再確認した様子であった。

農業普及課では、夏秋なすの生産に向けて、引き続き栽培管理の支援を継続して行う。



【研修会の様子】